

歴 史 書

1

2013
No. 205



通 信

ご存じですか 徳川美術館／四辻 秀紀
歴史書新刊ニュース 〈11・12月〉
歴史書以外の人文社会図書新刊案内 〈11・12月〉
会員社刊行の2012年受賞図書
歴懇リバイバル2012フェア出品書目・参加店一覧

歴史書懇話会

ご存じですか 徳川美術館

四辻 秀紀

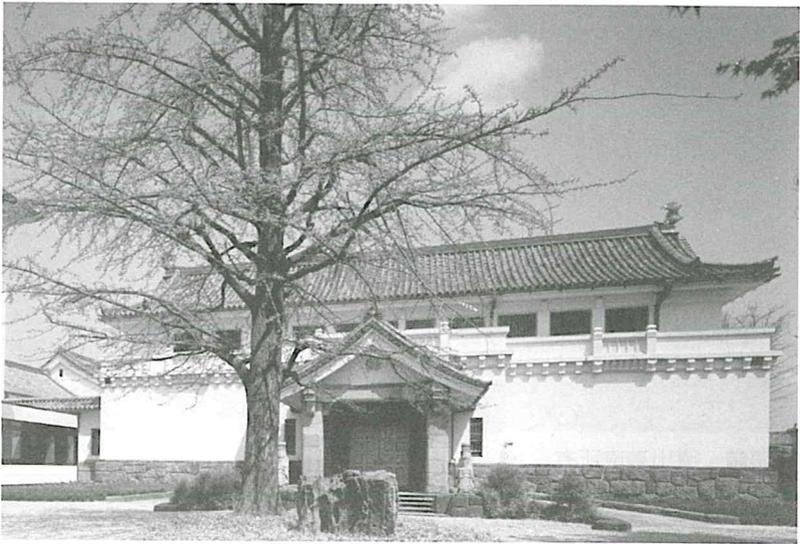
(徳川美術館副館長)

徳川美術館は、大正から昭和の初め、関東大震災や経済不況などで、多くの大名家がそれぞれの家に伝来した大切な品々を売立てていった中で、尾張家19代徳川義親（1886～1976）が同家に伝来した大名道具を散逸させることなく後世に伝えるため、昭和6年（1931）に財団法人を創設して伝来の什宝類を寄贈し、さらにより多くの人々の研究や教養に役に立つようと昭和10年に設立した私立の美術館で、現存する私立の美術館施設としては4番目に古い歴史を誇っている。

徳川美術館の収蔵品は、徳川家康（1542～1616）の遺産である「駿府御分物」を中核としている。「駿府御分物」とは、徳川家康が元和2年（1616）に駿府城（静岡市）で75歳の生涯を閉じた後、駿府城に残されていた莫大な金銀財宝や諸道具類の大半を第九男の義直（1600～50、尾張徳川家初代）、第十男の頼宣（駿河のち紀伊徳川家初代）、第十一男の頼房（水戸徳川家初代）の、いわゆる御三家に分与した遺産の総称である。「駿府御分物」の遺産分与目録が『駿府御分物御道具帳』で、その内容は、金銀の道具をはじめ刀剣・武具・甲冑・茶道具・香道具・能道具・衣服・調

度・葉・香木など多種多彩である。この「駿府御分物」に加え、初代義直や2代光友（1625～1700）をはじめ歴代藩主や夫人たちの蒐集品、婚礼の際の持参品などが収蔵品の大半を占め、その数1万件余りにも及んでいる。これらの中には、足利将軍家ゆかりの「東山御物」として伝えられた名高い作品を始め、織田信長、豊臣秀吉ゆかりの品々も多く含まれている。さらに徳川宗家（将軍家）、一橋徳川家、阿波徳島の蜂須賀家などの大名家から売立てられた重宝類の一部も購入し、名古屋の豪商であった岡谷家や高松家をはじめとする篤志家の寄贈品を加え、充実した内容の収蔵品となっている。

近年になって購入したり寄贈を受けた作品は別にして、尾張徳川家に伝来した作品は、大名が大名家たる家の格式を示すに必要とされた道具、将軍家や歴代藩主にゆかりのある道具、また事ある行事に際して室町時代の規式に則った数寄屋や書院の座敷飾りに用いられてきた道具、儀礼や行事に際して贈答するための道具、プライベートな空間で用いるための道具、そして藩主やその家族たちが鑑賞した道具などであり、いずれも大名の生活空間の中“道具”



徳川美術館

として享受されてきた。

徳川美術館には、徳川家康の遺産目録である『駿府御分物御道具帳』以来、幕末から明治初年まで使用されてきた一群の蔵帳・道具帳が数百冊保存されている。これらのうち特に江戸時代後期の蔵帳に記載されているそれぞれの仕室には、箱や付属品、極札や折紙の5記載のほかに、伝来や来歴、あるいは何年何月に尾張から江戸へ持ち出し、何年に返納されたとする情報が記入されている。これに加え関連する文献史料も徳川美術館ならびに姉妹機関である徳川林政史研究所、戦後名古屋市に譲渡した隣接する名古屋市蓬左文庫に所蔵されている。これらに記載されている刀剣や茶道具・書画などの多くが徳川美術館に現存していて、誰が用いていたのか、何時どのような経緯で尾張徳川家にもたらされたのかな

ど、伝歴の経緯や享受のされ方や所用者が判明する作品も少なくない。

例えば重要文化財「布袋・朝陽対月図」三幅対は、それぞれに足利3代將軍義満（1358～1408）の鑑蔵印が押されており、義満の所蔵であったと知られ、その後、慶長15年（1610）に豊国社の社務職であった萩原兼従（1588～1660）から徳川家康に献上、さらに「駿府御分物」として尾張家初代義直に譲られ、以後同家に伝来した作品と知られる。この三幅対は、元和9年（1623）2月に、2代將軍徳川秀忠（1579～1632）が江戸の尾張家屋敷を公式に訪問した御成に際して、御成書院の床を飾っている（『元和御成記』徳川美術館蔵）し、寛永2年（1625）2月、および寛永13年の3代將軍家光（1604～51）の御成に際し用いられている（『事蹟録抄記』徳川林政史研究所蔵）。さら



遠眼鏡 徳川義直所有

に、元禄11年（1698）3月の5代將軍綱吉が江戸の尾張家麴町邸に御成の際にも表御小座敷の床に掛けられている（「綱吉公御成略記」徳川林政史研究所蔵）。

この他、ちょっと珍しい収蔵品を紹介しておく、世界で一番状態のよい17世紀のベルシャ製の絨毯、ドイツ人のシルレが1645年に発明した凸レンズ4枚を組み合わせた形式で、尾張徳川家初代義直が所有した日本最古の望遠鏡、江戸時代に、腐敗を防ぐために脚や内臓を取り除きニューギニアから剥製として輸入され、当時の人たちは脚がないため木にとまらず、いつも風に浮かんでいると思い「風鳥」と呼んでいた極楽鳥など、珍品も数多く伝えられている。

維新・大戦を通じて各大家名の道具がほとんど散逸してしまった今日、徳川美術館の収蔵品が大家名の宝庫・コレクションとして唯一まとまった存在であり、「大名道具とは何か?」「近世大名とは何か?」という

問いかけに答えられるわが国唯一の美術館となっている。

昭和62年（1987）秋に、地元の自治体や経済界、一般市民からの寄付によって、常設展示室をはじめとした施設が充実し、さらに平成16年（2004）秋に、尾張徳川家に伝来した貴重な書物を中心に伝える名古屋市蓬左文庫や、池泉回遊式の大名庭園がよみがえった徳川園など、徳川美術館周辺が整備され、総合的に江戸時代の大名文化を体感していただけるようになった。

歴史は、現在の社会を見る鏡となりうるが、文化というのは、さらにそのエッセンスとあって良いだろう。文化を一度途絶えさせてしまうと、次代に受け継がれることは困難となる。継続していき、その継続を支えていく方々がより多くなるよう願ってやまない。

（表紙写真）『駿府御分物御道具帳』
詳しくは本文をご覧ください。

新刊ニュース

11・12月発行図書 *発売は予定のものもあります

歴史一般

辞典／年表・地図／歴史学・補助学

図書大概

大沼晴暉著

A 5判 484頁 8,400円

汲古書院(11月刊)

図書そして書誌学とは何か…とかく「読み物」として敬遠されがちな、図書学概論書に面白さと具体性と詳密さを兼ね備えた書と林望氏絶賛の書。 978-4-7629-1225-2

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

出土木製品の保存と対応

考古学研究調査ハンドブック4

樋上 昇著

四六判 178頁 1,785円

同成社(12月刊)

遺跡から出土する木製品について、調査時から分析、整理、報告書作成、保管・活用の各場面で必要な事を具体的にわかり易く紹介。 978-4-88621-618-2

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

日本石造物辞典

日本石造物辞典編集委員会編

菊判 1420頁 21,000円

吉川弘文館(11月刊)

古代から南北朝時代につくられた約1500の石造物の形状・銘文・伝承・現地アクセスなどを都道府県別に収載。関連用語も解説する。 978-4-642-01466-3

二〇世紀満洲歴史事典

貴志俊彦・松重充浩・松村史紀編

菊判 840頁 14,700円

吉川弘文館(11月刊)

日露戦争・満洲事変・溥儀・冷戦…。日本人にとって満洲とは何だったのか? 約800項目で、満洲100年の歴史がわかる決定版! 978-4-642-01469-4

ポツダム宣言と軍国日本

敗者の日本史20

古川隆久著

四六判 248頁 2,730円

吉川弘文館(11月刊)

勝者から敗者へ。軍国化と太平洋戦争の敗北から何を学ぶことができるのか。最新の研究成果を駆使して探る、戦争の敗因と教訓! 978-4-642-06466-8

南北朝内乱と東国

動乱の東国史4

櫻井 彦著

四六判 308頁 2,940円

吉川弘文館(11月刊)

朝廷を二分した南北朝内乱を、人々はなぜ面白い、東国社会に何をもたらしたのか。地域の紛争を描き、『太平記』の時代に迫る。 978-4-642-06443-9

古河公方と伊勢宗瑞

動乱の東国史6

則竹雄一著

四六判 316頁 2,940円

吉川弘文館(12月刊)

室町幕府の東国統治体制は、鎌倉公方の分裂で弱体化し、伊勢宗瑞(北条早雲)の登場にいたる。戦国につながる関東の大乱期に迫る。 978-4-642-06445-3

人々の営みと近世の自然

環境の日本史 4
水本邦彦編

A 5判 308頁 5,040円 吉川弘文館〔12月刊〕

大規模な開発が進んだ江戸時代。鉱山開発と資源枯渇、津波など自然災害の恐怖などから、人々がどう自然と向き合ってきたのかを解明。 978-4-642-01726-8

小田原合戦と北条氏

敗者の日本史10
黒田基樹著

四六判 268頁 2,730円 吉川弘文館〔12月刊〕

総構えの威容を誇った難攻不落の小田原城。全国統一をめざす秀吉政権に、小田原北条氏はなぜ最後まで抵抗し敗れたのか。興亡を描く。 978-4-642-06456-9

歴史書「古事記」全訳

武光 誠著

四六判 448頁 3,990円 東京堂出版〔11月刊〕

上巻、中巻、下巻の内容を、特に神様の名前の由来に気を使いながら訳し、まとまりごとに、その内容の「解説」を付す。付録に「系図」「参考文献」等。978-4-490-20811-5

小堀遠江守正一発給文書の研究

藤田恒春著

A 5判 1080頁 36,750円 東京堂出版〔11月刊〕

小堀遠州として知られる小堀正一(政一)の発給および受給文書など約1000通を収録。1点ごとに詳細な解説、人名・地名などの索引も付した1冊。 978-4-490-20813-9

多元的古代の成立 (上)

邪馬壹国の方法
古田武彦著

四六判 376頁 3,675円 ミネルヴァ書房〔12月刊〕

天皇家一元史観による従来の「定説」に対して行った学的挑戦の粋を集成した、著者初の学術論文集。上巻には、古代史学界に一石を投じた衝撃の論文「邪馬壹国」をはじめ、六篇の論文を収録する。 978-4-623-06453-3

多元的古代の成立 (下)

邪馬壹国の展開
古田武彦著

四六判 368頁 3,675円 ミネルヴァ書房〔12月刊〕

天皇家一元史観による従来の「定説」に対して行った学的挑戦の粋を集成した、著者初の学術論文集。下巻には倭の五王論、三角縁神獸鏡論、そして著者の処女論文である古事記序文論など、七篇の論文を収録する。 978-4-623-06454-0

鳥取県の歴史散歩

鳥取県の歴史散歩編集委員会編

B 6変型判 352+10頁 1,260円 山川出版社〔12月刊〕

史跡・文化財を訪ね歩く、都道府県別のシリーズ。地域の概観・文化財公開施設・おもしろ祭り・参考文献・年表など付録も充実。 978-4-634-24631-7

除目抄・行類抄

内閣文庫所蔵史籍叢刊古代中世篇 4
石田実洋・小倉慈司解題

B 5判 524頁 21,000円 汲古書院〔11月刊〕

除目抄とは官を任命する儀式(除目)の関係書。行類抄とは室町時代の公家洞院実熙による故実書(儀式の先例を記した書)。共に押小路家旧蔵本。 978-4-7629-4303-4

職原抄・吉口伝

内閣文庫所蔵史籍叢刊古代中世篇 6
新井重行・高田義人解題

B 5判 580頁 21,000円 汲古書院〔12月刊〕

職原抄とは官職の沿革を記した書。北島親房撰。金地院旧蔵本。吉口伝とは撰者の吉田隆長が兄定房の公事に関する口伝・記録・書状を抄録して作成した故実書。内務省旧蔵本。 978-4-7629-4305-8

岩倉具視関係史料 (全2巻)

佐々木克・藤井譲治・三澤純・谷川穰編

A 5判 総1088頁 25,200円 思文閣出版〔11月刊〕

『岩倉公実記』の編纂にあたって蒐集された、関係史料の一部。『岩倉公実記』掲載文書とは異なる文書もあり、明治維新史の定説に変更を迫る新出史料。 978-4-7842-1659-8

京都雑色記録 第三巻

小島氏留書3・五十嵐氏記録 京都大学史料叢書9
朝尾直弘編

A 5判 350頁 14,700円 思文閣出版〔11月刊〕

近世京都の雑色はとくに警察権の行使にあたった点で注目される。第3巻には、下雑色小島氏の留書(日記)後半と、上雑色五十嵐氏の諸記録を収録。 978-4-7842-1627-7

現代語訳 吾妻鏡 12

宝治合戦
五味文彦・本郷和人・西田友広編
四六判 256頁 2,940円 吉川弘文館(11月刊)

北条時頼が執権に就任する。前執権経時が死去するや前将軍藤原頼経と名越氏らが策動。翌年、宝治合戦が勃発し、三浦氏は全滅した。 978—4—642—02719—9

古代天皇家の婚姻戦略

歴史文化ライブラリー359
荒木敏夫著
四六判 240頁 1,785円 吉川弘文館(12月刊)

日本古代における大王・天皇と王族・皇親らのキサキの条件とは何か。近親婚の盛行、国際性の欠如など、婚姻からみた古代王権の実態! 978—4—642—05759—2

日本古代の国家と造営事業

十川陽一著
A 5判 304頁 7,875円 吉川弘文館(12月刊)

古代日本では、なぜ宮都や寺社などの大規模な造営事業が繰り返し行われたのか。宮都造営や技術労働の実態を検証し、意義を検討する。 978—4—642—04602—2

古代豪族と武士の誕生

歴史文化ライブラリー360
森 公章著
四六判 240頁 1,785円 吉川弘文館(12月刊)

激動する時代のなか、地方豪族たちはどのように出世をはかりその家系を存続させてきたのか。古代史を貫く地方豪族の処世術を描く。 978—4—642—05760—8

摂関院政期思想史研究

森新之介著
A 5判 336頁 6,825円 思文閣出版(12月刊)

主に九条兼実と法然の思想を具体的に検証し、従来の民衆仏教史観を整理することで、摂関院政期思想史の実像を描き出し、通説への修正をせまる一書。 978—4—7842—1665—9

清少納言(ミネルヴァ日本歴史人物伝)

「枕草子」をかいた女性随筆家
龐谷 寿監修/西本鶏介・文/山中桃子・絵
A B判 32頁 2,625円 ミネルヴァ書房(11月刊)

宮づかえのなかで、貴族の優雅な生活や四季折々の自然の美しさを、随筆『枕草子』にあらわした清少納言。その生涯を時代背景とともにつづる伝記物語と詳細な資料で紹介します。 978—4—623—06414—4

源義経(ミネルヴァ日本歴史人物伝)

伝説になった悲劇の若武者
木村茂光監修/西本鶏介・文/狩野富貴子・絵
A B判 32頁 2,625円 ミネルヴァ書房(11月刊)

牛若と呼ばれた幼いころから、平氏との戦で数々の活躍をし、そして奥州平泉で悲劇的な最期を迎えるまでの源義経の生涯を時代背景とともにつづる伝記物語と詳細な資料で紹介します。 978—4—623—06415—1

中世の国家と天皇・儀礼

歴史科学叢書
井原今朝男著
A 5判 420頁 10,500円 校倉書房(12月刊)

歴史学は故人の残した史料から教訓を聞き取る学問として、中世の国家・天皇制・社会思潮からみた現代国家・象徴天皇制・現代思潮への異議を申し立てる。 978—4—7517—4430—7

北条時宗(ミネルヴァ日本歴史人物伝)

モンゴル帝国軍をしりぞけた若き執権
木村茂光監修/西本鶏介・文/山中桃子・絵
A B判 32頁 2,625円 ミネルヴァ書房(12月刊)

二度にわたる蒙古襲来の危機をのりきった北条時宗。鎌倉の世にそれはどのような影響を及ぼしたのでしょうか。時宗の生涯をその時代背景とともにつづる伝記物語と詳細な資料で紹介します。総ルビ付きなので、低学年から活用できる。 978—4—623—06416—8

日本中世初期の文書と訴訟

山川歴史モノグラフ24
佐藤雄基著
A 5判 312頁 5,250円 山川出版社(11月刊)

文書史および訴訟・紛争解決の構造について再検討を加え、文書機能論・日本法制史というテーマから、史料論と歴史学の相互関係を論じる。 9784—634—52348—7

中世王家の成立と院政

栗山圭子著
A 5判 272頁 9,450円 吉川弘文館(11月刊)

院宮の家政機関の変容、天皇生母の政務関与などの要素を検証し、院政の基盤となった「家」の形態を解明。王家と院政との連関を論じる。 978—4—642—02910—0

戦国大名佐々木六角氏の基礎研究

村井祐樹著

A 5判 520頁 12,180円 思文閣出版(12月刊)

一次史料から謎に包まれた佐々木六角氏の実像を追求し、戦国期の畿内近国政治史を明かす。附論に戦国期佐々木六角氏関係記録類を網羅した史料集を収録。

978-4-7842-1663-5

蒲生氏郷

おもひきや人の行方ぞ定めなき

藤田達生著

四六判 268頁 2,940円 ミネルヴァ書房(12月刊)

近江日野の名門武家に生まれ、信長、秀吉に仕えて活躍、伊勢松坂12万石、そして会津若松92万石へと栄転した氏郷。天下統一戦のなか最新の軍制導入により、近世大名へと蒲生家を転換させようとした文武両道の武將像を描く。

978-4-623-06490-8

細川ガラシャ(ミネルヴァ日本歴史人物伝)

信仰をつらぬいた戦国の貴婦人

小和田哲男監修／西本鶏介・文／宮嶋友美・絵

A B判 32頁 2,625円 ミネルヴァ書房(12月刊)

明智光秀のむすめに生まれ、戦乱の世でキリスト教の信仰をつらぬいた細川ガラシャ。時代の波に翻弄されたその生涯を、時代背景とともにつつる伝記物語と詳細な資料で紹介します。

978-4-623-06417-5

山城国一揆と戦国社会

歴史文化ライブラリー-357

川岡 勉著

四六判 240頁 1,785円 吉川弘文館(11月刊)

いかにして一揆は起き、どのように収束したのか。幕府・守護・国人など諸階層の動きと政治・社会状況、地域の特質から、実態に迫る。

978-4-642-05757-8

江戸の町奉行

明石選書

石井良助著

四六判 260頁 1,890円 明石書店(11月刊)

町奉行、与力、同心、目明、火盜改、辻番、代官…南北に別れる江戸時代の町奉行システムから当時の江戸の治安システムまでわかりやすく紹介・解説する。

978-4-7503-3710-4

吉原

明石選書

石井良助著

四六判 194頁 1,680円 明石書店(11月刊)

幕府公認遊郭、吉原の全体像と江戸社会に果たした役割を法制史的見地を踏まえて描く。

978-4-7503-3711-1

林羅山

書を読み未だ倦まず

鈴木健一著

四六判 248頁 3,150円 ミネルヴァ書房(11月刊)

幼少期朱子学に開眼、藤原惺高に学び、家康をはじめ、多くの将軍に仕えた。方広寺鐘銘事件や寛永の武家諸法度の起草と徳川体制の確立に尽力した。権力に阿る御用学者か、朱子学の聖か、その生涯に迫る。

978-4-623-06480-9

徳川吉宗

日本史リブレット人51

大石 学著

A 5変型判 104頁 840円 山川出版社(11月刊)

強力なリーダーシップで享保改革を行った吉宗。その結果、江戸社会では日本型システムが確立した。吉宗の実像と享保改革の意義を具体的にみていく。

978-4-634-54851-0

四條家の維新と近代

尚友倶楽部・華族史料研究会編

A 5判 256頁 4,725円 同成社(12月刊)

戊辰戦争で北陸道鎮撫副総督、越後府知事などを歴任した四條隆平の動静を軸に、近代公家華族の諸問題を最新史料をもとに分析する。

978-4-88621-620-5

レンズが撮らえたF・ベアトの幕末

横浜開港資料館監修

菊 5判 224頁 1,680円 山川出版社(11月刊)

諸外国で従軍カメラマンとして活躍し、充分な実績を誇っていたベアト。ベアトが撮らえた幕末の日本の姿を貴重な写真で紹介する。

978-4-634-15032-4

中山みき

日本史リブレット人65

小澤 浩著

A 5変型判 104頁 840円 山川出版社(11月刊)

「心直し」によってこそ、真の「世直し」が実現すると説いた、天理教の教祖中山みき。彼女の生涯から、宗教の枠組みを超えて人間観・歴史観を見直す。

978-4-634-54865-7

近代日本のメディアと階層認識

石堂彰彦著

A 5判 200頁 6,300円 吉川弘文館〔11月刊〕

民衆の啓蒙を目的とした説論や投書を素材に、近代日本における階層認識の形成と変遷を、新聞というメディアを通じて解き明かす。 978—4—642—03815—7

明治国家の服制と華族

刑部芳則著

A 5判 412頁 12,600円 吉川弘文館〔12月刊〕

和装から洋装へという明治国家の新しい服制は、どう創設されたか。服制の変化と近代天皇制を支えた華族階層の役割意識の違いを検討。 978—4—642—03816—4

憲政常道と政党政治

近代日本二大政党制の構想と挫折
小山俊樹著

A 5判 386頁 7,350円 思文閣出版〔11月刊〕

大正後半～昭和初期の二大政党、政友会・憲政会の動向を通して、「憲政の常道」の意味を解明し、二大政党政治が抱える諸課題を提示する。 978—4—7842—1662—8

毅然たる孤独—石原莞爾の肖像—

野村乙二朗著

四六判 328頁 2,940円 同成社〔11月刊〕

満洲に王道楽土の建国を夢み、最終戦争から永久平和を目指した比類無き軍事戦略家の孤高の足跡を、幼少期から克明に辿る。 978—4—88621—619—9

首都防空網と〈空都〉多摩

歴史文化ライブラリー-358
鈴木芳行著

四六判 256頁 1,890円 吉川弘文館〔11月刊〕

B29の東京空襲は多摩から始まった…。織物の町から防空軍事都市へ。誕生から消滅、復興までの、〈空都〉多摩の知られざる歴史。 978—4—642—05758—5

満洲出版史

岡村敬二著

A 5判 352頁 8,925円 吉川弘文館〔12月刊〕

日本は満洲国建国を経て敗戦まで多くの文化活動を展開した。未開拓だった満洲出版史に光を当て法制や諸団体、各出版社の実態を解明。 978—4—642—03817—1

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

植民地朝鮮の日常を問う

第2回佛教大学・東国大学校共同研究 佛教大学国際学術研究叢書3
韓哲昊・原田敬一・金信在・太田修著

A 5判 280頁 2,940円 思文閣出版〔12月刊〕

佛教大学と韓国・東国大学校との3年間にわたる学術交流の成果。植民地下における日常生活の様々な事象、日韓の歴史認識のズレを検討するための4編。 978—4—7842—1660—4

朝鮮古代史料研究

濱田耕策著

A 5判 328頁 10,500円 吉川弘文館〔12月刊〕

現代に残された朝鮮古代史料の研究史や調査・保存状況に言及し分析。その成果から朝鮮半島を主舞台にした古代東アジアの実像に迫る。 978—4—642—08151—1

産業革命

世界史リブレット116
長谷川貴彦著

A 5変型判 96頁 765円 山川出版社〔11月刊〕

グローバル化、環境汚染やエネルギー革命、貧困と格差など、現代の諸問題と密接につながる産業革命の歴史を、最新の研究成果に拠りながら紐解く。 978—4—634—34954—4

東アジア海域に漕ぎだす1 海から見た歴史

羽田 正編

A 5判 304頁 2,940円 東京大学出版会〔12月刊〕

これまで「国」単位の歴史をもとに理解されてきた東アジア史を、「海域」概念を用いて描きなおし、新たな歴史解釈の可能性を示す。全6巻のシリーズ刊行開始。 978—4—13—025141—9

ディオクレティアヌス時代のローマ帝国

山川歴史モノグラフ25

大清水 裕著

A 5判 352頁 5,250円 山川出版社〔11月刊〕

ローマ皇帝ディオクレティアヌス帝の地方統治構造改革による、帝国と都市の関係の変化を、ラテン碑文史料の研究・分析を通して明らかにする。 978—4—634—67383—0

野戦郵便から読み解く「ふつうのドイツ兵」

山川歴史モノグラフ26

小野寺拓也著

A 5判 336頁 5,250円 山川出版社〔11月刊〕

野戦郵便を史料として、「戦友意識」や「男らしさ」をキーワードに、「ふつうの人々」がなぜホロコーストへ荷担するに到ったかを明らかにする。 978—4—634—67384—7

世界歴史の旅

ロシア

和田春樹・中村嘉和著

A 5判 180頁 予価2,940円 山川出版社〔12月刊〕

首都として君臨するモスクワ、帝国の都サンクトペテルブルク、ロシアの歴史の始まりの地で今はウクライナの首都キエフ。魅力的な3都市を紹介する。 978—4—634—63211—0

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

漢字の社会史

文明を支えた文字の三千年 読みなおす日本史

阿辻哲次著

四六判 240頁 2,205円 吉川弘文館〔12月刊〕

漢字、抜きには語れない、日本人の言語生活・文字文化！ その成立から現在までの歴史を、豊富なエピソードを交えながら解明する。 978—4—642—06389—0

戦後琉球の公務員制度史

米軍統治下における「日本化」の諸相

川手 撰著

A 5判 384頁 6,720円 東京大学出版会〔11月刊〕

戦後琉球の人事行政システムを一次資料を駆使して明らかにしながら、時とともにそれがいかに変容していくかを辿る。公務員制度研究に新たな視点を提示する。 978—4—13—036243—6

改訂増補 備中吉備津神社文書 中世篇

藤井学・山崎浩之編

A 5判 224頁 13,650円 法蔵館〔12月刊〕

岡山の備中一宮吉備津神社に伝わる中世文書を集めた史料集。全面的に改訂を施し、初公開史料「備中国板倉村検地帳」を新たに収録するなど、改訂増補として復刊、書下ろし改題付き。 978—4—8318—7578—5

続 古佛

井上 正著

B 5判 288頁 9,975円 法蔵館〔12月刊〕

「霊木化現仏」や「感得仏」などのキーワードによって、図像や儀軌にしばられることのない自在な世界をもつ八・九世紀の日本各地の仏像を解き明かす。 978—4—8318—7649—2

華嚴文化の潮流

ザ・グレートブッダシンポジウム論集 第10号

GBS 実行委員会編

A 4判 152頁 2,100円 法蔵館〔12月刊〕

アジアを駆け巡る善財童子—「華嚴入法界品」の思想と文化（小林 圓照）、新羅華嚴宗における造形概念—浮石寺から仏国寺・石窟庵まで（朴 亨國）、鯉演の断惑説について（吉川 太一郎）、インド華嚴から日本華嚴へ（木村 清孝） ISSN1348—8937

柳田國男の教育構想

国語教育・社会科教育への情熱

関口敏美著

B 6判 232頁 2,415円 塙書房〔11月刊〕

《歴史的な思考力・判断力と主体的な国語能力をそなえた自立した人間の育成》を唱えた柳田國男の教育構想を解き明かす。 978—4—8273—3114—1

暦の語る日本の歴史

読みなおす日本史

内田正男著

四六判 198頁 2,205円 吉川弘文館〔11月刊〕

中国から伝来した暦は、天体運動との差で改暦を必要とした。暦に携わった天文研究者たちの活躍から改暦をめぐる歴史の真実に迫る。 978—4—642—06390—6

平家物語の文学史

原田敦史著

A 5判 288頁 6,090円 東京大学出版会〔12月刊〕

広く読み継がれる『平家物語』を、文学としてどう読むかという問題に向き合う。古態とされてきた延慶本も他本と相対的な関係のなかにあることを明らかにし、「流動の文芸」としての全体像を描き出す。 978-4-13-086044-4

萬葉集研究 第33集

稲岡耕二監修／神野志隆光・芳賀紀雄編

A 5判 264頁 7,875円 塙書房〔11月刊〕

萬葉集研究の最先端。毎年1冊刊行。学界第一線に活躍中の執筆者が、心ゆくまで意を尽くした、現万葉学の進歩に資する鋭利な新稿論文を収める。 978-4-8273-0533-3

萬葉集の羈旅と文芸

三田誠司著

A 5判 304頁 9,450円 塙書房〔11月刊〕

『萬葉集』前期作を中心に、旅というひとつの契機がうたわれるべき対象として歌人たちに把握され、個々の表現が深まり展開してゆく諸相を明らかにする。 978-4-8273-0119-9

名刀と日本人 一刀がつなぐ日本史

渡邊妙子著

四六判 280頁 予価2,200円 東京堂出版〔12月刊〕

名刀の歴史を読み解くことは、「日本史」を読み解くことにつながります。名刀の歴史を辿りながら、現代日本人が忘れた武士のころを学びます。 978-4-490-20809-2

京狩野三代 生き残りの物語

山楽・山雪・永納と九条幸家
五十嵐公一著

A 5判 252頁 4,200円 吉川弘文館〔11月刊〕

庇護者九条幸家の人物像や山楽・山雪・永納との親密な関係に着目。京狩野家の個性豊かな作品と生き残り戦略の実態を描き出す。 978-4-642-07914-3

日本幼児史

子どもへのまなざし
柴田 純著

四六判 208頁 2,310円 吉川弘文館〔12月刊〕

無関心から子宝へ。幼児への認識は、なぜ大きく変化したのか。民俗学の通説「七歳までは神のうち」が流布した理由などから考える。 978-4-642-08083-5

フィールドワークの戦後史

宮本常一と九学会連合
坂野 徹著

四六判 196頁 2,940円 吉川弘文館〔11月刊〕

九学会連合の共同調査から、GHQ 統治下の対馬、本土復帰直後の奄美の人びとの姿を辿り、フィールドワークを戦後史に位置づける。 978-4-642-08082-8

焼肉の文化史

明石選書
佐々木道雄著

四六判 362頁 1,995円 明石書店〔11月刊〕

焼肉はどこから来たか。日本、朝鮮、中国…、東アジア全域に広がる焼肉の文化を歴史、社会現象など多方面から取り上げる。 978-4-7503-3707-4

伝 記

亀泉集証

人物叢書271
今泉淑夫著

四六判 288頁 2,310円 吉川弘文館〔11月刊〕

室町中期の禅僧。相国寺蔭涼軒主に就任。五山の人事・仏事の諸問題に対処し、『蔭涼軒日録』を残した室町禅林のキーパースンの生涯。 978-4-642-05264-1

織田信長

人物叢書272
池上裕子著

四六判 328頁 2,415円 吉川弘文館〔12月刊〕

桶狭間から本能寺まで、生涯戦争に明け暮れる。天下統一に邁進した革命家のごとく英雄視する後世の評価を再考し等身大の姿を描く。 978-4-642-05265-8

雑誌

日本歴史 12月号 (第775) =11月刊
1月号 (第776) =12月刊

日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

学生・院生 一年間5,000円〔送料込〕

A 5判 146頁 12月号=780円 1月号=1,000円

吉川弘文館〔11・12月刊〕

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書以外の――

人文社会図書新刊案内

2012. 11・12

――明石書店――

- 現代ベトナムを知るための60章【第2版】 今井昭夫・岩井美佐紀編著 …四六判 2,100円 10月
 カナダを旅する37章 飯野正子・竹中 豊編著 ……………四六判 2,100円 10月

――東京大学出版会――

- 現代政治学叢書2 ガバナンス 猪口 孝著……………四六判 2,940円 11月
 現代政治学叢書8 イデオロギー 蒲島郁夫・竹中佳彦著 ……………四六判 3,150円 11月
 政治学講義 第2版 佐々木毅著 ……………A 5判 2,940円 11月
 合理性の考古学 フランスの科学思想史 金森 修編 ……………四六判 6,300円 12月
 新約聖書・ヘレニズム原典資料集 大貫 隆・筒井賢治編訳 ……………A 5判 3,780円 12月
 [新装版] イスラム 思想と歴史 中村廣治郎著 ……………四六判 2,625円 12月

――ミネルヴァ書房――

- みちかにいる神さま (みたい! しりたい! しらべたい! 日本の神さま絵図鑑 2)
 松本恒一監修・序文 ……………A B判 2,940円 11月
 パワーと相互依存 ロバート・O・コヘイン/ジョセフ・S・ナイ著 滝田賢治監訳
 ……………A 5判 5,040円 11月
 冷戦後のNATO 広瀬佳一・吉崎知典編著 ……………A 5判 3,675円 11月
 EU・西欧 押村 高・小久保康之編著……………A 5判 3,360円 11月
 フランク・ナイト 社会哲学を語る フランク・ナイト著 黒木 亮訳 …四六判 3,675円 12月
 危機・不安定性・資本主義 服部茂幸著 ……………四六判 4,000円 12月
 くらしを守る神さま (みたい! しりたい! しらべたい! 日本の神さま絵図鑑 3)
 松本恒一監修/京極夏彦序文 ……………A B判 2,940円 12月

* 会員社刊行の2012年受賞図書 *

〈日本女性史学賞〉

『大日本帝国の「少年」と「男性性」』 内田雅克著

..... A 5判 4,410円 明石書店
女性の活躍を鼓舞し、女性の置かれた位置を歴史的な変化の中で確かめるべく、女性史研究の育成を図る一助になるようにという抱負をもって、2005年、脇田晴子氏を中心として、女性史学賞選定委員会が結成された。

〈第24回矢数医史学賞〉

『近代医療のあけぼの 幕末・明治の医事制度』 青柳精一著

..... A 5判 4,935円 思文閣出版
矢数道明氏より寄贈された基金により設けられた賞。医史学研究の優れた業績に対して授与する。

〈第29回政治研究櫻田會奨励賞〉

『近代日本の政治構想とオランダ』 大久保健晴著

..... A 5判 7,560円 東京大学出版会
政治研究に関する優れた書籍に贈られる賞。

〈第28回大平正芳記念賞〉

『現代ロシアの貧困研究』 武田友加著 A 5判 7,770円 東京大学出版会
「環太平洋連帯構想」の発展に貢献する政治・経済・文化・科学技術に関する優れた著作に贈られる賞。

〈第46回造本装幀コンクール 日本印刷産業連合会会長賞〉

『古語大鑑 第1巻 あ〜お』 築島裕編集委員会代表

..... B 5判 39,900円 東京大学出版会
出版・デザイン・印刷・製本産業の向上・発展と読書推進を目的に贈られる賞。

〈第17回日本比較文学会賞〉

『ナボコフ 訳すのは「私」 自己翻訳がひらくテキスト』 秋草俊一郎著

..... 四六判 3,990円 東京大学出版会
比較文学・比較文化に関する若い研究者の研究書に贈られる賞。

〈第2回日本ロシア文学会賞（著書部門）〉

『ナボコフ 訳すのは「私」 自己翻訳がひらくテキスト』 秋草俊一郎著

..... 四六判 3,990円 東京大学出版会
ロシア文学研究に関する優れた書籍に贈られる賞。

〈平成24年度日本沿岸域学会出版・文化賞〉

『江戸前の環境学 海を楽しむ・考える・学びあう12章』 川辺みどり・河野博編
 A 5判 2,940円 東京大学出版会
 沿岸域に関する学術、技術の発展及び文化の向上に対して著しく貢献したものに贈られる賞。

〈2012年度労働関係図書優秀賞〉

『市場の力と日本の労働経済 技術進歩、グローバル化と格差』 櫻井宏二郎著
 A 5判 5,040円 東京大学出版会
 労働に関する書籍のなかからすぐれたものに贈られる賞。

〈第24回アジア・太平洋賞 特別賞〉

『インド 暴力と民主主義 一党優位支配の崩壊とアイデンティティの政治』 中溝和弥著
 A 5判 8,610円 東京大学出版会
 アジア・太平洋に関連する優れた本を著した研究者に贈られる賞。

〈2011年度日本地理学会賞（優秀著作部門）〉

『氷河地形学』 岩田修二著 B 5判 8,610円 東京大学出版会
 地理学に関連する優れた著作に贈られる賞。

〈2012年度三井住友海上福祉財団賞（高齢者福祉部門）〉

『延命医療と臨床現場 人工呼吸器と胃ろうの医療倫理学』 会田薫子著
 A 5判 5,040円 東京大学出版会
 高齢者福祉に関して現場からの実際的なもの、あるいは社会への啓発・普及に多大な貢献が期待されるものに贈られる賞。

〈第17回口ドリゲス通事賞〉

『商人と宣教師 南蛮貿易の世界』 岡美穂子著
 A 5判 9,030円 東京大学出版会
 ポルトガルに関して出版された書籍の中からすぐれた著作に贈られる賞。

〈日本の人事部「HR アワード」書籍部門特別賞〉

『職場学習論 仕事の学びを科学する』 中原 淳著
 A 5判 2,800円 東京大学出版会
 人事、人材開発、労務管理などの分野において有益であると評価された書籍に贈られる賞。

〈第9回日本医学哲学・倫理学会学会賞〉

『延命医療と臨床現場 人工呼吸器と胃ろうの医療倫理学』 会田薫子著
 A 5判 5,040円 東京大学出版会
 学会の目的および進歩に寄与する顕著な研究を行い、さらに将来の発展を期待されるものに贈られる賞。

〈2012年度駿台史学会選奨〉

『中国古代家族史研究 秦律・漢律にみる家族形態と家族観』 鈴木直美著
..... A 5判 6,090円 刀水書房
「過去1年間に学界において優秀と認められる業績」を挙げた会員に授与される賞
で、「新進の研究者の育成に寄与することを目的」としている。

〈第10回東南アジア史学会賞〉

『ベトナムの考古・古代学』 西村昌也著 B 5判 13,650円 同成社
わが国の東南アジア史学に従事する少壮研究者の業績を顕彰して、その研究を奨
励し、斯学の発展に資することを目的とした賞。

〈第6回九州考古学会賞〉

『東北アジア古民族植物学と縄文農耕』 小畑弘己著 ... B 5判 10,500円 同成社
九州に関連する考古学の優れた研究成果に贈られる賞。

〈第6回日本思想史学会奨励賞〉

『神仏と儀礼の中世』 船田淳一著 A 5判 7,875円 法藏館
日本思想史学の一層の発展に資することを目的とした賞。

〈第34回角川源義賞〔歴史研究部門〕〉

『中世天照大神信仰の研究』 伊藤 聡著 A 5判 12,600円 法藏館
日本文学ならびに歴史の分野における最も優れた学術書を表彰。角川書店の創立
者の角川源義氏が、財団の発足と同時に創設した。

〈第7回林家辰三郎芸能史研究奨励賞〉

『近世勸進の研究—京都の民間宗教者』 村上紀夫著 A 5判 8,400円 法藏館
芸能史研究會の若手研究者の育成と奨励を目的とし、創立者の林家辰三郎先生の
お名前を冠した「林家辰三郎芸能史研究奨励賞」を設置した。

〈平成23年度中小企業研究奨励賞 経済部門 本賞〉

『戦前日本のエレクトロニクス』 平本 厚著 ... A 5判 5,775円 ミネルヴァ書房
中小企業に関する図書または定期刊行物に発表された論文のうち優れた作品を表
彰する。

〈平成23年度中小企業研究奨励賞 経営部門 本賞〉

『産業技術競争力と金型産業』 田口直樹著 A 5判 3,675円 ミネルヴァ書房
中小企業に関する図書または定期刊行物に発表された論文のうち優れた作品を表
彰する。

〈平成23年度中小企業研究奨励賞 経営部門 準賞〉

『現代中小企業の発展プロセス』 関 智宏著 ... A 5判 3,360円 ミネルヴァ書房
中小企業に関する図書または定期刊行物に発表された論文のうち優れた作品を表
彰する。

〈第30回社会事業史文献賞〉

『生活保護は最低生活をどう構想したか』 岩永理恵著

…………… A 5判 5,250円 ミネルヴァ書房
 社会事業史学会会員の研究の奨励と質の向上を図ることが期待される著作に授与される。

〈平成24年度国際文化表現学会賞〉

『日本公的年金政策史』 矢野 聡著 …… A 5判 8,400円 ミネルヴァ書房
 学際的、国際的な視野から、世界各国の特質とその表現を研究することを目的として設立された学会主旨に合致した著作に授与される。

〈第18回社会政策学会 奨励賞〉

『生活保護は最低生活をどう構想したか』 岩永理恵著

…………… A 5判 5,250円 ミネルヴァ書房
 社会政策に関する研究の発展に資するため、今後の研究の一層の発展が期待される会員に授与される。

〈第18回社会政策学会 奨励賞〉

『東アジアにおける後発近代化と社会政策』 李 蓮花著

…………… A 5判 6,825円 ミネルヴァ書房
 社会政策に関する研究の発展に資するため、今後の研究の一層の発展が期待される会員に授与される。

〈ソーシャル・リスクマネジメント学会賞〉

『危機管理学総論 [改訂版]』 大泉光一著 …… A 5判 4,200円 ミネルヴァ書房
 ソーシャル・リスクマネジメントに関する学術的研究を促進し、ソーシャル・リスクマネジメントの学術的研究とその健全な発展に寄与することが期待される著作に授与される。

〈2012年度日本社会福祉学会学会賞 奨励賞〉

『生活保護は最低生活をどう構想したか』 岩永理恵著

…………… A 5判 5,250円 ミネルヴァ書房
 社会福祉研究の一層の発展を図るため、学会員のうちで顕著な研究業績をあげた者の顕彰および若手研究者の研究奨励を目的とする賞。

〈2012年度日本社会福祉学会学会賞 奨励賞〉

『精神障害者のための効果的的就労支援モデルと制度』 山村りつ著

…………… A 5判 6,825円 ミネルヴァ書房
 社会福祉研究の一層の発展を図るため、学会員のうちで顕著な研究業績をあげた者の顕彰および若手研究者の研究奨励を目的とする賞。

〈第八回平塚らいてう賞 顕彰〉

『原 阿佐緒』 秋山佐和子著 ……………四六判 3,675円 ミネルヴァ書房
①平塚らいてうの研究、②男女共同参画社会の実現、③女性解放を通じた世界平和に関わる研究や活動のいずれかについて、研究を行う個人または団体に対して授与される賞。

〈第66回毎日出版文化賞（人文・社会部門）〉

『河原ノ者・非人・秀吉』 服部英雄著 ……………四六判 2,940円 山川出版社
毎日新聞社が主催する、優れた著作、出版活動をおこなった著編者、翻訳者と出版社に贈られる賞。

〈2012年度住田正一海事史奨励賞〉

『「蛮社の獄」のすべて』 田中弘之著 ……………四六判 3,990円 吉川弘文館
海事文化発展に寄与された故住田正一氏を記念して設置された賞で、海事史に関する優れた研究書に贈られる。主催は社団法人日本海運集会所。

〈第27回女性史青山なを賞〉

『近現代女性史論—家族・戦争・平和』 永原和子著 ……A 5判 11,550円 吉川弘文館
女性学の視点に立脚する優れた女性史の業績に対して贈られる。主催は東京女子大学女性学研究所。

歴懇リバイバル2012

秋の共同復刊企画

- *名著・貴重書・基本図書を復刊！
- *日本史を中心に宗教史、文学、伝記など幅広いラインナップ！
- *いずれも少部数の復刊です。お早めにご注文下さい！
- *復刊書目は2012年10月1日現在 8社26点。

主催：歴史書懇話会

発売：2012年10月上旬

校倉書房	03-3203-4851	同成社	03-3239-1467
東京大学出版会	03-3811-8814	塙書房	03-3812-5821
東京堂出版	03-3233-3741	法藏館	075-343-5656
刀水書房	03-3261-6190	吉川弘文館	03-3813-9151

※著者名につづく()は初版年、出版社名につづく〔 〕は分類を示します。
 ※価格は予定価格です。

織豊期王権論

堀新著 (2011)

A 5判 364頁 10,500円 校倉書房〔日本史〕

織田・豊臣権力と天皇・朝廷との関係は、対立・緊張であったのか、それとも従属または協調であったのか、信長の国家構想や官位制度への対応を論考。 978-4-7517-4290-7

公共圏の歴史的創造

—江湖の思想へ—

東島 誠著 (2000)

A 5判 352頁 7,770円 東京大学出版会〔日本史〕

「日本」史を素材として、パブリックなものとオフィシャルなものとのせめぎあう関係、「公共圏」存立のあり方を追究。新たな社会関係の可能性の模索と歴史的創造を問う。 978-4-13-026602-4

豊臣平和令と戦国社会

藤木久志著 (1985)

A 5判 300頁 5,880円 東京大学出版会〔日本史〕

「豊臣平和令(惣無事令・喧嘩禁止令・刀狩令・海賊禁止令)の発見を通じて、中世から近世への移行期の歴史像を豊かな史実によって再構成。 978-4-13-020073-8

古文書古記録語辞典

阿部猛編著 (2005)

A 5判 566頁 12,600円 東京堂出版〔日本史〕

古代・中世の古文書・古記録に表われる重要な言葉約9500について、意味を解説し、その後の変化にも言及。古文書・古記録を読むための座右の書。 978-4-490-10675-6

マクドナルド「日本回想記」

—インディアンの見た幕末の日本—

W. ルイス、村上直次郎編／富田虎男訳訂 (1979)

四六判 310頁 2,310円 刀水書房〔日本史〕

日本をインディアンの母国と信じて密航した青年の日本観察記。幕末最初の英語教師として評価されて、高校英語教科書にも採用された。 978-4-88708-005-8

日本の江戸時代—舞台上上がった百姓たち—

田中圭一著 (1999)

四六判 259頁 2,520円 刀水書房〔日本史〕

日本の古い体質のシンボル「江戸時代封建論」に真っ向から挑戦した江戸近代論。「検知は百姓の土地私有の確証である」ことを実証等、日本史全体像の変革を迫る。 978-4-88708-233-5

改訂版 枕詞辞典

阿部萬蔵・阿部猛編 (2010)

A 5判 362頁 5,985円 同成社〔文化史〕

本書は、近代以後の諸書・論稿等もふんだんに参照し、枕詞1078を収録した名著『枕詞辞典』の22年ぶりの改訂版である。 978-4-88621-538-3

古墳時代政治史序説(オンデマンド版)

川西宏幸著 (1988)

A 5判 552頁 11,550円 塙書房〔日本史〕

円筒埴輪研究に端を発する著者の古墳時代論。大型古墳編年の結果に基づき、畿内政権を中核とする古墳時代の政治動向について多角的に考察する。【OD版に付注文扱】 978-4-8273-1650-6

正税帳の研究(オンデマンド版)

—律令時代の地方政治—

井上辰雄著 (1967)

A 5判 516頁 10,500円 塙書房〔日本史〕

天平期正税帳を中心に、当時の地方政治、中央政府と地方国衙との関係等重要な諸問題に政治史的分析を試み、律令時代の地方政治の実情を総合的に把握。【OD版に付注文扱】 978-4-8273-1651-3

京郊庄園村落の研究(オンデマンド版)

上島 有著 (1970)

A 5判 520頁 10,500円 塙書房〔日本史〕

東寺百合文書の原本に親しむ著者が「旧名の解体」を東寺観山城国上久世庄で跡づけ、南北朝期より戦国末期までの「京郊西岡の地」の歴史を体系的に叙述。【OD版に付注文扱】 978-4-8273-1652-0

<p>近世日本塩業の研究(オンデマンド版) 河手龍海著 (1971)</p>	<p>「休浜替持法」その因って来た原因を分析、経過 変遷を辿り、日本の歴史全体の中において把え、 近世日本塩業の本質・全貌を明らかにした。</p>
<p>A 5判 362頁 7,350円 塙書房〔日本史〕</p>	<p>【OD版に付注文報】 978—4—8273—1653—7</p>
<p>日本紡績業史序説 下(オンデマンド版) 高村直助著 (1971)</p>	<p>大阪紡績の設立から第一次大戦勃発までの三 十数年間にわたる日本紡績史。上下の二冊目。</p>
<p>A 5判 292頁 5,775円 塙書房〔日本史〕</p>	<p>【OD版に付注文報】 978—4—8273—1654—4</p>
<p>初期万葉の女王たち(オンデマンド版) 神田秀夫著 (1969)</p>	<p>香しい孝徳・斉明朝の三女王、特にその伝説化され た鏡女王と額田王を中心に、筆者独自の韻律をもっ て、古事記・日本書紀・万葉集からその真実を探る。</p>
<p>B 6判 276頁 2,835円 塙書房〔日本史〕</p>	<p>【OD版に付注文報】 978—4—8273—4524—7</p>
<p>糞掃衣の研究—その歴史と聖性— 松村薫子著 (2006)</p>	<p>僧侶が着ける最上の袈裟(糞掃衣)とは何か。 歴史的展開を明らかにし、袈裟の製作団体を 実地調査、製作活動や理念、そこに発生する 特別性を考察。</p>
<p>四六判 257頁 2,940円 法蔵館〔日本史〕</p>	<p>978—4—8318—6033—0</p>
<p>西大寺叡尊伝記集成 奈良国立文化財研究所監修 (1977)</p>	<p>南都西大寺中興の祖、興正菩薩叡尊が鎌倉時 代における律学復興の中心人物であり、文化 史上著しい業績を伝えている。</p>
<p>A 5判 492頁 16,800円 法蔵館〔日本史〕</p>	
<p>延喜式 日本歴史叢書(新装版) 8 虎尾俊哉著 (1964)</p>	<p>古代政治社会研究の基本史料、日本古代文化 理解の一大宝庫。初めてその鍵を開き、興味 深い条文の紹介を兼ねて平易に解説した古代 史研究に必備の書。</p>
<p>四六判 276頁 2,940円 吉川弘文館〔日本史〕</p>	<p>978—4—642—06608—2</p>
<p>検証 本能寺の変 歴史文化ライブラリー-232 谷口克広著 (2007)</p>	<p>明智光秀は単独犯なのか、果たして黒幕が存 在したのか。本能寺の変にいたる過程を史料 により再現。様々な仮説を検証し、真相に迫 る。</p>
<p>四六判 282頁 1,890円 吉川弘文館〔日本史〕</p>	<p>978—4—642—05632—8</p>
<p>源氏と坂東武士 歴史文化ライブラリー-234 野口実著 (2007)</p>	<p>河内源氏の東国進出と、土着した軍事貴族や 受領・郎等の末裔たちとのかかわりをダイナ ミックに描き、幕府成立の基盤を探り出す。</p>
<p>四六判 208頁 1,785円 吉川弘文館〔日本史〕</p>	<p>978—4—642—05634—2</p>
<p>一条天皇 人物叢書(新装版) 倉本一宏著 (2003)</p>	<p>平安中期の天皇。藤原道長に協同して王権の 安定を築き、和歌や笛を嗜み、王朝文化を開 花させた。理想的天皇像の原型となった生涯。</p>
<p>四六判 304頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記〕</p>	<p>978—4—642—05229—0</p>
<p>藤原定家 人物叢書(新装版) 村山修一著 (1962)</p>	<p>中世歌壇の大御所、二条派歌学の祖、優れた 歌論家。古典研究にも功績多い著名な堂上歌 学者の伝。</p>
<p>四六判 412頁 2,310円 吉川弘文館〔伝記〕</p>	<p>978—4—642—05172—9</p>
<p>細川頼之 人物叢書(新装版) 小川 信著 (1972)</p>	<p>幼将軍義満を輔佐し、一旦政争に敗れ失脚し たが後再び復歸、室町幕府の基礎を固めた名 宰相の伝。</p>
<p>四六判 325頁 2,310円 吉川弘文館〔伝記〕</p>	<p>978—4—642—05175—0</p>

大内義隆 人物叢書 (新装版)	文化の愛好と貿易の富力で「山口王国」を築き、逆臣のため非業な末路を遂げた風雅な武将、悲劇の伝。
福尾猛市郎著 (1959)	
四六判 224頁 1,890円	吉川弘文館〔伝記〕 978-4-642-05173-6
三好長慶 人物叢書 (新装版)	細川氏の被官から実力ナンバーワンへ。下剋上の代表者と誤解される戦国教養人の多彩な生涯を描く。
長江正一著 (1968)	
四六判 304頁 2,205円	吉川弘文館〔伝記〕 978-4-642-05154-5
立花宗茂 人物叢書 (新装版)	九州柳川藩立花氏の祖。秀吉に取り立てられ、晩年は徳川將軍家に重用された波乱の生涯を描く。
中野 等著 (2001)	
四六判 314頁 2,205円	吉川弘文館〔伝記〕 978-4-642-05220-7
林羅山 人物叢書 (新装版)	江戸幕府文教の中枢ともいべき林家の始祖として著名であり、日本史上稀有の博学者ながら、典型的な御用学者ともいわれる。羅山の生涯を豊富な史料によって詳説し、儒学の本質にも迫る好著。 978-4-642-05185-9
堀 勇雄著 (1964)	
四六判 496頁 2,415円	吉川弘文館〔伝記〕
石田梅岩 人物叢書 (新装版)	江戸時代の社会教化・成人教育に偉大な役割を演じた「心学」の開祖。その生涯と行実を巧みに描く。
柴田 実著 (1962)	
四六判 176頁 1,575円	吉川弘文館〔伝記〕 978-4-642-05136-1

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴懇リバイバル2012

フェア参加店一覧

*は歴史書懇話会特設店 2012年12月15日現在

札幌市	MARUZEN&ジュンク堂 書店札幌店	長野市	丸善松本店
弘前市	紀伊國屋書店弘前店	静岡市	戸田書店静岡本店
弘前市	ジュンク堂書店弘前店	静岡市	谷島屋呉服町本店
*仙台市	ジュンク堂書店仙台本店	静岡市	MARUZEN&ジュンク堂 書店新静岡店
仙台市	東北大学生協文系書籍部店	名古屋市	三省堂書店名古屋高島屋店
仙台市	紀伊國屋書店仙台店	名古屋市	ジュンク堂書店ロフト 名古屋店
山形市	八文字屋本店	名古屋市	ジュンク堂書店名古屋店
つくば市	丸善筑波大学会館店	名古屋市	丸善名古屋栄店
前橋市	文真堂ブックマンズ アカデミー前橋店	*名古屋市	ちくさ正文館本店
高崎市	文真堂ブックマンズ アカデミー高崎店	豊山町	紀伊國屋書店名古屋空港店
太田市	文真堂ブックマンズ アカデミー太田店	*豊橋市	精文館書店本店
さいたま市	ジュンク堂書店 大宮ロフト店	津市	別所書店修成店
*さいたま市	須原屋本店	京都市	大垣書店イオンモール KYOTO 店
*千代田区	岩波ブックセンター信山社	京都市	京都大学生協 ブックセンタールネ
中央区	丸善丸の内本店	*京都市	ジュンク堂書店京都店
*新宿区	芳林堂書店高田馬場店	京都市	同志社生協書籍部今出川店
文京区	東京大学生協本郷書籍部	大阪市	喜久屋書店阿倍野店
渋谷区	MARUZEN&ジュンク堂 書店渋谷店	*大阪市	ジュンク堂書店大阪本店
*豊島区	ジュンク堂書店池袋本店	*大阪市	ジュンク堂書店千日前店 MARUZEN&ジュンク堂 書店梅田店
立川市	オリオン書房ノルテ店	大阪市	ジュンク堂書店難波店
八王子市	中央大学生協書籍店	神戸市	ジュンク堂書店三宮駅前店
横浜市	有隣堂横浜駅西口 ザ・ダイヤモンド店	*神戸市	ジュンク堂書店三宮店
藤沢市	有隣堂藤沢店	神戸市	海文堂書店
新潟市	ジュンク堂書店新潟店	姫路市	ジュンク堂書店姫路店
*富山市	Books なかだ本店	明石市	ジュンク堂書店明石店
*金沢市	うつのみや柿木畠本店	西宮市	ジュンク堂書店西宮店
*長野市	平安堂長野店	鳥取市	今井書店吉成店

鳥取市	今井書店グループ センター店	広島市	フタバ図書 MEGA 祇園中筋店
岡山市	ジュンク堂書店岡山店	松山市	愛媛大学生協城北ショップ
倉敷市	喜久屋書店倉敷店	福岡市	紀伊國屋書店福岡本店
広島市	ジュンク堂書店広島駅前店	*福岡市	ジュンク堂書店福岡店
広島市	MARUZEN 広島店	福岡市	丸善博多店
東広島市	広島大学生協北1 コープブック書籍部	熊本市	喜久屋書店熊本店
*府中町	フタバ図書 TERA 広島府中店	大分市	ジュンク堂書店大分店
		鹿児島市	ジュンク堂書店鹿児島店
		那覇市	ジュンク堂書店那覇店

四條男爵家の維新と近代

尚友倶楽部・華族史料研究会編

A5判・二五六頁・四七二五円

近年発見された四條男爵家文書の整理を通して得た新知見をもとに、近代公家華族の諸問題を分析する。

鉄器時代西アジアの文化変容

足立拓朗著

A5判・二八八頁・六三〇〇円

紀元前一二〜七世紀の西アジア「帝国」を物質文化の視点から、帝国周辺に重点をおき追究する。

考古学研究調査 出土木製品の保存と対応

樋上 昇著

四六判・一七八頁・一七八五円

出土する木製品の調査、分析、整理、報告書作成から保管・活用まで、必要な事を平易に紹介する。

世界の④ エジプトの考古学 改訂版

近藤二郎著

四六判・二七六頁・二七三〇円

考古学の見地から古代エジプト文明を通史的に概観し、その魅力を余す所なく伝える好著の改訂版。

毅然たる孤独 石原莞爾の肖像

野村乙二朗著

四六判・三三〇頁・二九四〇円

骨考古学と蝦夷・隼人 「市民の考古学」12

瀧川 涉編

四六判・一九四頁・一八九〇円

入門パブリック・アーケオロジー

松田 陽・岡村勝行著 A5判・一九二頁・一九九五円

同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税込み)
TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618
<http://homepage3.nifty.com/douseisha> E-mail douseisha@nifty.com



歴史書懇話会特設店

- | | | |
|-----------|---------|--|
| ジュンク堂書店 | 仙 台 本 店 | 〒980-0021 仙台市青葉区中央4-4-1
仙台イービーンズ 3・5・6・7F
☎022-716-4511 |
| 岩 瀬 書 店 | 富 久 山 店 | 〒963-8051 郡山市富久山町八山田
字大森新田36-1
☎024-936-2220 |
| 煥 乎 堂 | 本 店 | 〒371-0023 前橋市本町1-2-13
☎027-235-8111 |
| 須 原 屋 | 本 店 | 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-3-20
☎048-822-5321 |
| 岩波ブックセンター | 信山社 | 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3
☎03-3263-6601 |
| 東京堂書店 | 神田神保町店 | 〒101-0051 千代田区神田神保町1-17
☎03-3291-5181 |
| 芳林堂書店 | 高田馬場店 | 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場
1-26-5 F Iビル
☎03-3208-0241 |
| ジュンク堂書店 | 池袋本店 | 〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-5
☎03-5956-6111 |
| 有 隣 堂 | 本 店 | 〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-4-1
☎045-261-1231 |
| Booksなかだ | 本 店 | 〒939-8212 富山市掛尾町180-1
☎076-492-1192 |
| う つ の み や | 柿木畠本店 | 〒920-0962 金沢市広坂1-1-30
☎076-234-8111 |
| 平 安 堂 | 長 野 店 | 〒380-0825 長野市末広町1355-5
☎026-224-4550 |
| 精 文 館 書 店 | 本 店 | 〒440-8517 豊橋市広小路1-6
☎0532-54-2345 |
| ちくさ正文館 | 本 店 | 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-28-1
☎052-741-1137 |
| ジュンク堂書店 | 京 都 店 | 〒600-8005 京都市下京区四条富小路角
☎075-252-0101 |
| ジュンク堂書店 | 大 阪 本 店 | 〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20
堂島アバンザ1～3F
☎06-4799-1090 |
| ジュンク堂書店 | 千 日 前 店 | 〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-7
Y. E. S. N A M B Aビル
☎06-6635-5330 |
| ジュンク堂書店 | 三 宮 店 | 〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-6-18
☎078-392-1001 |

フタバ図書	T E R A 広島府中店	〒735-8588 広島県安芸郡府中町大須2-1-1 ダイヤモンドシティ・ソレイユ ☎082-561-0770
りーぶる	天 神	〒810-0001 福岡市中央区天神4-1-18 サンビル 1 F ☎092-713-1001
ジュンク堂書店	福 岡 店	〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-13 天神 MMT ビル ☎092-738-3322

2012年12月現在

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

青木書店	http://www.aokishoten.co.jp/
明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
学生社	http://www.gakusei.co.jp/
汲古書院	http://www.kyuko.asia/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
新人物往来社	http://www.jinbutsu.co.jp/
東京大学出版会	http://www.utp.or.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://www.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

早いもので、年の瀬まで20日余りになります。まもなく総選挙です。この『歴史書通信』をお手元にお届けできる頃には、次期政権が発足していることでしょう。

さて、今年も私たち歴史書懇話会は月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ30冊」の連続ミニフェアを下記の5書店で開催してまいりました（かっこの数字はフェア開始の日付）。

◇天童市 TENDO 八文字屋（2006年7月）／◇新潟市紀伊國屋書店新潟店（2007年8月）◇松江市今井書店グループセンター店（2008年6月）／◇さいたま市ブックデポ書楽（2009年9月）／◇新宿区芳林堂書店高田馬場店（2010年4月）

このミニフェアを、毎月開催して下さった5書店の皆さま、1年間ありがとうございました。来年もよろしくお願い致します。

先日新聞で「真珠湾攻撃一問に合わなかった最後通告。1941年12月8日の日米開戦をめぐる新事実が明らかになった……」という、最後通告の遅れに関わる新資料の発見の記事を読みました（『日経』2012.12.8）。そこで、史・資料に向かう歴史家たちの言葉を少し探してみました。

- 群籍を涉猟して資料を蒐め、或は分析し、或は総合して、新事実を闡明するのは、吾等にとって苦しみであると共に絶大の楽しみである（加藤 繁）
- 史料をいくらいじっても、それだけでは歴史にならない。史料取扱人は歴史家の名に値しない。こうした批判は耳の痛いほどきいている。そして、私もその通りだと思う。また、それでよいと考える。私は歴史家でなくてもよいのである。歴史家のお役にいくらかでも立てば満足するのである（坂本太郎）
- 歴史は、すべて史料によって叙述されねばならぬ。史料にもとづかないで、歴史らしく叙述されたものは、思考の産物であり、神話、伝説、小説であって、それは歴史ではない（竹内理三）
- 史料は、それが仮令客観的な存在そのものを表現してある場合に於いても、歴史認識の素材的契機にすぎないのであり、歴史を主体的に構成してゆくものは、そしてその認識を媒介する歴史家自身も亦、特定の歴史社会的存在としての『典型的』な人間なのであり、それは抽象的・一般的ではなく、具体的・歴史的に与へられてあるところのものなのである（高橋幸八郎）

そして最後に、膨大な史料に向き合いながらも改竄してしまった、歴史家高群逸枝についての栗原弘先生の言葉を紹介します（下線、引用者）。

- 自己の理想を、史実の上で発見できなかった高群は、自らの手で男性中心の歴史を転覆させ、『招婿婚の研究』の中で、女性中心の理想社会を創作した。書かれた歴史の上で、女性の解放を果たしたのである（『高群逸枝の婚姻女性史像の研究』）
- 史料と向き合う厳しさを感じながら、私たちは新しい歴史書を世に問うてゆきたいと思えます。

これからも、読者の皆様に“歴史書との幸福な出会い”をお届けできるように、歴史書懇話会は全国の書店の皆様のお力をお借りしながら、務めてまいります。どうぞ良いお年をお迎えください。

企画展示

日本の神様大集合

— 徳川美術館へ初詣 —

A Great Assembly of Gods:
A New Year's Shrine Visit to the Tokugawa Art Museum

■ 期 間 / 平成25年 1月4日(金)～2月3日(日)

■ 開館時間 / 午前10時～午後5時(入館は午後4時半まで)
 ■ 休館日 / 月曜日(但し、1月14日(月)は開館、翌15日(火)は休館)
 ■ 観覧料 / 一般 1,200円・高大生 700円・小中生 500円
 (20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引)

■ 主催 / 徳川美術館・日本経済新聞社
 ■ 協力 / 名古屋市交通局
 ■ 概要

日本の神は古くから人々の暮らしに寄り添ってきました。今日なお、初詣・七五三・合格祈願など、一年や一生の節目に際してまみえ、祈りを捧げることが一般的です。

尾張徳川家にも、数多くの神にまつわる什宝が伝えられてきました。中でも徳川家康を神格化した東照大権現信仰と武人の神として祀られた八幡信仰は、その中核を成しています。また、熱田や伊勢、春日の神、さらには、学問の神に歌の神と尾張徳川家に伝わる神にまつわる美術品を一同に展示いたします。また、神を言祝ぐために営まれた祭礼の図、神に奉り演じられた芸能の遺品なども紹介します。

■ 展示予定作品

武家の信仰

・ 東照大権現
 徳川家康画像(東照大権現像) 徳川義直(尾張家初代)筆・同賛 江戸時代 17世紀
 徳川家康長久手合戦陣中画像 狩野安信筆 鈴木丹後守献上 江戸時代 17世紀

・ 八幡信仰
 八幡大菩薩像 市ヶ谷上屋敷内八幡宮御神体 重美 鎌倉時代 14世紀

・ 神像
 雨宝童子像 室町時代 16世紀

神格化された人物

・ 歌神として人麿影供 柿本人麻呂
 柿本人麻呂像 徳川光友(尾張家2代)筆 江戸時代 17世紀

・ 学問の神様 菅原道真
 東帯天神像 益叟福謙賛 室町時代 14-15世紀

社の景観

・ 春日大社
 春日曼荼羅図(不空絹索観音像) 鎌倉時代 14世紀

・ 熱田神宮
 熱田社参詣曼荼羅図 伝狩野賢信筆 二曲一隻 室町時代 16世紀

祭礼

石清水八幡 遷座縁起絵 鎌倉-室町時代 14世紀
 ほか、約90件展示予定。

徳川美術館 〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017 TEL 052-935-6262
 ホームページ <http://www.tokugawa-art-museum.jp/>

ドイツの歴史百話

坂井榮八郎著 〔分水歴史全書84〕

「ドイツ史の語り部」を自任する著者が、半世紀を超え、歴史家人生で出会った人、出会った事、出会った本、そしてさまざまな歴史のエピソードなどを、百のエッセイに紡いで時代順に語ったユニークなドイツ史！

四六上製 三三〇頁 ￥三一五〇

もう一つのスイス史

独語圏・仏語圏の間の深い溝

クリストフ・ビヒ著／片山淳子訳 〔分水歴史全書83〕

多言語国家スイスは「独仏2言語の溝」を如何に解決したか？

四六上製 二五〇頁 ￥二二二五

身分社会と市民社会

一九世紀ハンガリー社会史

ケヴェール・ジェルジ著／平田武訳 〔人間科学叢書45〕

ハンガリー社会学界を代表する著者による、ブダペシュユト大学のハンガリー近現代社会史講義。同国社会史研究最新の成果

A5上製 三五〇頁 ￥四八三〇

イメージにひそむ身体

ジャン・クロード・シュミット著／

中世の視覚文化

小池寿子・廣川暁生・古本高樹訳

中世においてキリスト教美術は如何にイメージを立ち上げさせてきたのか

A5上製 四〇〇頁 〔予定〕五五〇〇

歴史としての東日本大震災

口碑伝承をおろそかにするなかれ

岩本由輝編 〔執筆者〕岩本由輝・河野幸夫・菊池慶子・佐々木秀之

東北に暮らす歴史家三人と科学者一人が、体験をもとに大震災を歴史の中に位置づける。四〇〇年目の烈震・大津波と東京電力福島第一原発の事故／仙台湾海底遺跡の発見と仙台平野を襲った貞観津波／失われた黒松林の歴史復元／消防団体験から書き起こす東日本大震災／一四年前の「変動地調査報告」と高浜原発

A5上製 二四〇頁 ￥二二一〇

1月刊行

2012年の新刊・重版・復刊 好評発売中

◎世界史の鏡 榊山絃一編 11冊目、環境1
歴史を変えた火山噴火 自然災害の環境史
 石弘之著 四六並製 一八〇頁 ￥一六八〇

近代ボヘミア農村と市民社会
 一九世紀後半ハプスブルク帝国における社会変容と国民化
 桐生裕子著 A5箱 二五〇頁 ￥八五〇

中国古代家族史研究 秦律・漢律にみる家族形態と家族観
 鈴木直美著 A5箱 三〇〇頁 ￥一六〇九〇

万葉時代婚姻の研究 双系家族の結婚と離婚
 栗原弘著 A5箱 五二二頁 ￥九七六五

18世紀イギリスの都市空間を探る
 「都市ルネサンス」論再考
 中野忠・道重一郎・唐澤達之編 A5上製 三〇〇頁 ￥五二五〇

戦争の記憶とイギリス帝国
 オーストラリア、カナダにおける植民地ナショナルイズム
 津田博司著 A5上製 二五〇頁 ￥五一四五

ゾロアスター教スルヴァーン主義研究
 ペルシア語文獻『ウラマー・イエ・イスラム』写本の蒐集と校訂
 青木健著 A5箱 四五〇頁 ￥九四五〇

人種差別の世界史 白人性と何か？
 藤川隆男著 〔分水歴史全書82〕 四六上製 二七四頁 ￥二四一五

モンゴルの歴史 遊牧民族の誕生からモンゴル国まで
 宮脇淳子著 〔分水歴史全書59〕 四六上製 二九五頁 ￥二九四〇

マクドナルド「日本回想記」 〔分水歴史全書5〕
 インディアンを見た幕末の日本〔再訂版〕 W・ルイス・村上直次郎編
 富田虎男訳 四六上製 三二〇頁 ￥三三二〇

日本の江戸時代 舞台上上がった百姓たち
 田中圭一著 〔分水歴史全書50〕 四六上製 二五九頁 ￥二二二〇



【価格(税込)】
 〒101-0065 千代田区西神田2-4-1
 東方学会本館

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234
 http://www.tousuishobou.com

レンズが撮らえた F・ベアトの幕末

小沢健志・高橋則英 監修 菊5判 224頁 1680円

1863年に来日したイギリス人写真家ベアト。日本の風俗・風景・人物・戦場などいち早く「日本」を撮影した克明な記録。

日本史リブレット 人ひと A5変型判 各840円

11 桓武天皇

● 征夷と造都を宿命づけられた帝王
西本昌弘 不世出の帝王と呼ばれた桓武の事績を追いながら、新たな時代を開く過程をみる。(1月刊)

51 徳川吉宗

● 日本社会の文明化を進めた将軍
大石学 吉宗の一生をたどり、吉宗の実像と享保改革の意義を具体的にみてゆく。

65 中山みき

● 「心直し」から「世直し」を説いた
生き神教祖
小澤浩 天理教の教祖、中山みきの生涯から、宗教の枠組みを超えて人間観・歴史観を問い直す。

88 島地黙雷

● 仏教を宗教に仕立てた僧侶
山口輝臣 明治維新後、新たな宗教制度の構築を導いた島地黙雷の生涯をたどる。(1月刊)

世界史リブレット

116 産業革命

長谷川貴彦 765頁

グローバル化、環境汚染やエネルギー革命、貧困と格差など現代と密接につながる産業革命の歴史をひもとく。

山川歴史モノグラフ

24 日本中世初期の文書と訴訟

佐藤雄基 A5判312頁 5250円

歴史学と古文書学との関係のあり方を考えるために、日本中世初期の文書史および訴訟・紛争解決の構造について再検討する。

25 デイオクレティアヌス時代のローマ帝国

―ラテン碑文に見る帝国統治の継続と変容―

清水水裕 A5判352頁 5250円

ローマ帝国デイオクレティアヌス帝の地方統治構造改革による、帝国と都市の関係の変化を、ラテン碑文史料の研究・分析を通して明らかにする。新たな見解を提示し、近年の研究の見直しを迫る一冊。

26 野戦郵便から読み解く「ふつうのドイツ兵」

―第二次世界大戦末期におけるイデオロギーと「主体性」―

小野寺拓也 A5判336頁 5250円

野戦郵便を史料として、ナチ体制下の兵士の心性を「戦友意識」や「男らしさ」をキーワードに読み解き、「ふつうの人々」がなぜホロコーストへ荷担するに至ったかを解明する。

山川出版社

東京都千代田区内神田 1-13-13

(表示は税込み)

電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp>

日本人にとって、満洲とは何だったのか？
三期構成 約八〇〇項目で、満洲一〇〇年の歴史がわかる！

二〇世紀

満洲歴史事典



貴志俊彦・松重充浩・松村史紀編 14700円 「内容案内」送呈
満洲とはいかなる存在だったのか。一九世紀末から東北地方政権・満洲国・中華人民共和国による統治まで、八〇〇項目余を厳選し解説。

史国東の動乱

◆第4回・第5回配本の2冊
「内容案内」送呈
④ 南北朝内乱と東国 櫻井 彦著
争乱一揆・バサラ文化。東国社会に展開した「太平記」の世界！
⑥ 古河公方と伊勢宗瑞 則竹雄一著
戦国につながる関東全域を巻き込んだ争乱の時代を、新視点で描く。

歴史文化ライブラリー

357 山城国一揆と戦国社会 川岡 勉著
諸階層の動きと政治・社会状況、地域の特質などを考察し、実態に迫る！ 1785円
358 首都防空網と〈空都〉多摩 鈴木芳行著 B29の東京空襲は多摩から始まった…。 1890円
359 古代天皇家の婚姻戦略 荒木敏夫著
近親婚の盛行、国際性の欠如…。婚姻からみた古代王権の実態を描き出す。 1785円
360 古代豪族と武士の誕生 森 公章著
古代史を貫く処世術とは？ 地方豪族とその支配の実態を浮き彫りにする。 1785円

人物叢書

織田信長

池上裕子著 2415円



桶狭間から本能寺まで、生涯戦争に明け暮れる。英雄視する後世の評価を再考し等身大の姿を描く。(通巻27)

亀泉集証

今泉淑夫著 室町中期の禅僧・松原野日録を書き継ぎ、政情や文化を記す。室町禅林のキーパースンの生涯。(通巻27) 2310円

日本石造物辞典

日本石造物辞典編集委員会編 石塔、板碑、石仏、狛犬…。約一五〇〇の石造物を都道府県別に収載。 21000円



敗者の日本史

本配送 1冊内 1冊 毎月 内容 2940円
⑩ 小田原合戦と北条氏 黒田基樹著 第4回配本 2730円
「関東惣無事」に徹底抗戦した小田原北条氏の興亡を鮮やかに描く。
⑪ ホツダム宣言と軍国日本 古川隆久著 第3回配本 2730円
軍国化への道と太平洋戦争の敗北から何を学ぶことができるのか。

現代語訳 吾妻鏡

五味文彦・本郷和人・西田友広編 第12回配本 2940円

日本幼児史 子どもへのまなざし

柴田 純著 2310円

ファイルドワークの戦後史

宮本常一と九学会連合 坂野 徹著 2940円

読みなおす日本史 好評刊行中

暦の語る日本の歴史 内田正男著 改訂をめぐる歴史の真実に迫る名著。 2205円
漢字の社会史 東洋文明を支えた 阿辻哲次著 漢字への関わりを軸に描く。 2205円

吉川弘文館

(価格は5%税込) 〒113-0033 東京都文京区本郷7-2/電03-3813-9151



歴史手帳

2013年版 900円
愛用されて半世紀！日記を兼ねる歴史知識の宝庫。

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12(板橋営業所)〈担当者・古川 清〉
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5〈担当者・矢澤伊作〉
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3〈担当者・石田 亘〉
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14〈休会〉
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 汲古書院 102-0072 千代田区飯田橋2-5-4〈担当者・宮崎 淳〉
TEL. 03-3265-9764 FAX. 03-3222-1845
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入元町355〈担当者・井熊勇介〉
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 新人物往来社 102-0083 千代田区麹町3-2相互麹町第一ビル〈休会〉
TEL. 03-3221-6031 FAX. 03-3221-6641
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1(東大構内)〈担当者・角田光隆〉
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17〈担当者・鈴木 淳〉
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1〈担当者・中村文江〉
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8〈担当者・榎 祐典〉
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16〈担当者・関口守俊〉
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入〈担当者・西村明高〉
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 [本社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 101-0052 千代田区神田小川町2-4-17 大宮第一ビル6F
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620〈担当者・杉田信啓〉
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13〈担当者・西田 智〉
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8〈担当者・横井真木雄〉
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

法藏館書店

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458

取扱店

2013年1月1日発行・第205号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)